



JA全農福島だより

～令和4年度 3月号～

■ トップ

畜産部～酪農家全体研修会開催

■ キャンペーン関係

米穀部～あがらんしょキャンペーン沖縄で抽選会

燃料部～JAでんき新規ご契約プレゼントキャンペーン

■ ご案内

営農支援部～剪定後の枝集めも農福連携にお任せ！

肥料農薬部～土壌分析結果から施肥診断へ

■ トピックス

園芸部～冬の味覚「あんぽ柿」のPRを実施

施設資材部～園芸資材商品説明会および意見交換会開催



令和4年度JAグループ福島 酪農家全体研修会を開催しました。

畜産部 畜産酪農課

令和5年2月15日(水)に福島県農業総合センターにて、令和4年度 JAグループ福島酪農家全体研修会を開催しました。

この研修会はコロナ禍による中断を経て実に3年ぶりの開催となります。当日は、時おり雪の降るあいにくの天候となりましたが、県内各地から酪農家の皆さんをはじめ各関係機関、JA担当者など約50名の参加をいただきました。

午前の部では、先におこなわれた「第28回JAグループ乳質環境改善コンクール」での成績優秀者の表彰が行われ、最優秀賞を受賞されたJA福島さくら 遠藤正一氏へ渡部県本部長から賞状と記念品が授与されました。

午後の部では、優良事例として最優秀賞の遠藤正一氏から日頃の取組みについての発表と、拓進運輸株式会社 生乳課長 嶋原義行氏から「安全・安心をお届けします～集乳車の1日～」と題して講演をいただきました。

全農福島は、今後も県内酪農家の経営安定に取り組んでまいります。



多くの農家の方々に参加いただきました。



渡部本部長から賞状と記念品を授与



優良事例発表する遠藤さん

あがらんしょキャンペーン沖縄で抽選会開催！

米穀部 米穀販売課

令和5年2月17日、沖縄県で第9回あがらんしょキャンペーン抽選会がおこなわれました。このキャンペーンは沖縄県民の皆様に、福島県産米の品質の高さや食味の良さをお伝えすることを目的として昨年11月から1月末日まで実施しました。

キャンペーンは対象商品の軽洗米福島ひとめぼれ、天のつぶをご購入いただき、2泊3日の福島満喫ツアーや福島県カタログギフト、おこめ券が当たるというもので、応募総数は5,164通に上りました。

抽選会では、主催した沖縄食糧株式会社の中村社長とともに全農福島渡部県本部長と米穀部今福次長が抽選を沖縄県でおこないました。

今後も全農福島はキャンペーン等を通じて、福島県産米の更なる消費拡大を図ってまいります。



沖縄食糧(株)中村社長(左から2番目)と
渡部県本部長、今福米穀部次長

「JAでんき新規ご契約プレゼントキャンペーン」 ご当選おめでとうございます！

燃料部 エネルギー総合課

令和4年7月1日～12月31日まで開催していた「JAでんき新規ご契約プレゼントキャンペーン」のご当選者様が決定いたしました。

このキャンペーンは対象期間中にJAでんきに新規お申し込みいただいた方の中から「カザロジェラート(5,000円相当分)」をプレゼントするというもので、このたび厳正な抽選をおこない、福島県内の186名の方が当選し、2月中旬に賞品の発送をおこないました。

※当選の発表は賞品の発送をもってかえさせていただいております。

これからも全農福島は引き続き、農家・組合員等の家計負担の抑制及び営農コストの削減に向けて、電気事業に取り組んでまいります。



剪定後の枝集めも農福連携にお任せ！

営農支援部 TAC推進課

全農福島では農業と福祉が連携する農福連携を推進しておりますが、今回は農福連携を活用した取り組みの一例である、果樹剪定後の枝集めをご紹介します。果樹において冬場の仕事である剪定作業は、次作の防除作業や収穫量に大きく影響を与える、重要な作業です。

その後の枝拾いを農福連携で行うことによって、農家は枝拾いという作業に時間を割かず他の作業ができ、福祉事業所の利用者の方は外で作業を行うことで心身のリフレッシュ、工賃の向上につながります。

この作業を昨年から福島市、伊達市で行っており、今年も同地区を中心に取り組んでいく予定です。



枝拾いの作業風景

土壌分析結果から施肥診断へ

肥料農薬部 技術対策課

令和5年2月1日、JAふくしま未来主催の施肥診断技術者の養成講習会が開催されました。開会では、福島地区営農経済部の清野次長より「土壌分析の結果を営農指導に役立ててほしい」との挨拶があり、受講生は半日におよぶ講習会に熱心に取り組みました。

全農福島の肥料農薬部技術対策課は講師として参加し、福島地区における土壌の傾向について紹介したほか、土壌診断の仕方や土づくり資材の特徴について解説しました。

受講した営農指導員は「計算は難しかったが、施肥のタイミングや分析結果によっては減肥を提案すること等、実践的なことも確認できたと」話しており、今後の営農指導へのデータ活用が期待されるものとなりました。

全農福島は、適正施肥に向けた支援に取り組んで参ります。分析結果の見方、施肥改善の仕方についてご不明な点がございましたら、肥料農薬部技術対策課までご連絡ください。



熱心に受講する営農指導員の方々

トピックス

冬の味覚「あんぽ柿」のPRを実施しました！

園芸部 東京園芸事務所

1月中旬から下旬にかけて出荷最盛期を迎えた、福島を代表する果実「あんぽ柿」の消費拡大を目的にPRイベントを実施しました。

企画会社である株KOMPEITOと連携し、

①都内の一般企業への無料サンプリングサービス「OFFICE DE YASAI」

②駅構内に設置した自動販売機での無料サンプリングサービス「SALAD STAND」、2つのイベントを開催し、「あんぽ柿」の魅力発信に取り組みました。

また、令和4年12月には日本記念日協会により、12月から2月の各13日が「伊達のあんぽ柿の日」に制定されました。「SALAD STAND」のイベントでは、幅広い人に親んでもらえるよう、合わせて告知を行いました。

今回、両イベントでは今まで「あんぽ柿」に馴染みが無かった多くの人に手に取って頂きました。今後も主体となってPRを実施することで、福島の「あんぽ柿」の認知度向上に繋がって参ります。



「OFFICE DE YASAI サンプリングの様子



「SALAD STAND イベント風景」

そうま地区本部園芸資材商品説明会および意見交換会

施設資材部 資材課

令和5年1月17日「JAふくしま未来そうま地区本部園芸資材商品説明会及び意見交換会」を全農福島が取扱う主要資材とTAC推進課で推進している栽培管理システムについて、JA担当者を対象に説明・提案を実施しました。

資材課からは、水稻育苗ハウスや遊休ハウスの積極的利用を目的として比較的簡単に栽培可能な全農式トロ箱養液栽培システム「ういずOne」と、労働力削減のための水稻育苗マット「こめパワーマット」について商品の特徴や使用方法について説明しました。また、TAC推進課からは生産コスト低減に向けて地区上の圃場と圃場の情報を紐づけて管理できる営農管理システム「Z-GIS」「ザルビオ」について説明を行いました。

参加者からは「生産者に紹介してみたい!」「使い方の説明や推進を自信を持って出来そう!」といった前向きな意見を頂きました。

引続きより多くの生産者に利用してもらえるように、積極的に使用方法の周知を行い「ういずOne」「こめパワーマット」「営農管理システム」の普及拡大に取り組みたいと思います。



トロ箱養液栽培システム「ういずOne」を説明



営農管理システム「Z-GIS」「ザルビオ」について説明

全農福島だより 休刊のお知らせ

皆様にご愛読いただいてまいりました「全農福島だより」ですが、メディア環境の激変などの要因により、今月号をもちまして休刊させていただくことといたしました。

長年にわたり多大なるご支援とご愛顧を賜りましたことに、心より御礼申し上げます。

今後は全農福島ホームページトップページ上で多くの情報を発信してまいりますので、引き続きよろしくお願い致します。